

常盤の翠

志・寛・錬

「常盤の翠 城山に・・・」 校長 寺園 伸二

発行 平成31年4月26日
鹿児島市立伊敷中学校

十数年前に離島の学校を訪問したとき、廃校になった小学校の跡地に立ち寄りしました。小さな港を見下ろす高台には古い校舎と石碑が立っていて、ボタンを押すと校歌が流れるようになっていました。以前は子どもたちの元気な声が響いていたであろう校庭に、校歌だけが流れて、少し寂しい気持ちになりました。とを覚えています。



東日本大震災から八年がたちました。大きな被害を受けた学校の中には廃校になった学校も少なくありません。そんな学校の校歌を録音して、残そうという取組を行っています。「なぜ校歌を録音して残そうと考えたのですか。」という質問に対してこんな答えが返ってきました。「最初、震災の被害を受けたお年寄りを励ますために、ついに歌を歌うことを考えました。でも、お年寄りが『私たちの時代はテレビもレコードも無かったです。だから歌は知らない。私が歌えるのは校歌だけです。』とおっしゃったのを聞いて、地域の皆さんで校歌を歌って後生に残すことを考えました。校舎が無くなって、校歌は無くなるならない。みんなの心に生き続けるのだと・・・。」卒業式や入学式、始業式や終業式、体育大会や立志式と、私たちは行事のたびに校歌を歌います。どうして校歌を歌うのでしょうか。何のために歌っているのでしょうか。ひよっとしたら自分たちのために

は無くて、今は故郷を離れて暮らしている人たちが、もう何十年も前に伊敷中を卒業した人たちが、伊敷中の校歌を歌ったことのあるのか、卒業生に向けて歌っているのか、もしもありませんね。

「常盤の翠 城山に 希望の旭 おどる時・・・」この校歌が創られたのは、戦争が終わって間もない昭和二十二年、まだ、戦後の爪痕がいたる所に残り、戦後の復興のために皆が力を合わせて取り組んでいる最中です。決して豊かではありません、苦しい生活を余儀なくされていたであろうその時代に、伊敷中学校は開校しました。「常盤の翠」とは、松や檜のような枯れることの無い常緑樹の濃い緑を意味しており、常に青々とした木々に覆われている「城山」に、「希望の旭」が上り、木々の葉がキラキラと輝いている場面を表しています。つまり、荒廃した戦後の日々を、もう一度みんなが幸せに暮らせる豊かな国にしようという願いを胸に、創立当時の伊敷中の生徒と教職員は、この校歌を歌ったであろうと私は思うのです。校歌は「清気新たな大理想」とつなぐ大事な理想を描いていたのでしょ

時代は「平成」から「令和」へとつながっていきます。伊敷中学校の皆さん。創立以来歌い続けられてきた校歌、その校歌を皆さんはどんな気持ちで歌うのでしょうか。校歌が持つ力、皆さんの思い、伊敷中学校への思い、皆さんはどのように思いますか。

新しい先生方との出会い(新任式)



来21名の新しい先生方が赴任して来られました。新任式では、伊敷中生徒との出会いを楽しみにして、先生の言葉が多く聞かれました。生徒を代表して生徒会長が、「早く慣れて、志・寛・錬の校訓のもと、新たな伊敷中の歴史をつくっていきましょう。」と歓迎の言葉を述べました。

生徒だけでなく保護者・地域の皆さん、よろしくお願ひします。

元気な返事 初々しい制服姿(入学式)

233名の新入生が入学しました。入学式で担任の先生に呼ばれ、3年生にとつて頼もしい先輩ができました。

新入生を代表して峯苦泰志君が伊敷中学校でのこれからの生活を充実させたいとの思いを誓いの言葉として発表しました。

その後、各教室で教科書が配布され、中学校生活をスタートしました。早く中学校のリズムに慣れたいと思います。



どの部に入ろうかな?(部活動紹介式)



先輩たちが1年間生かした活動の様子を、含め、紹介しました。

その後、1年生の見学を経て、1年生の出し部による部活動紹介式が行われました。

19日は晴天の中、学年・学級の和ができた(一日遠足)

19日は晴天の中、学年・学級の和ができた(一日遠足)



学年・学級の和ができた(一日遠足)

5月の主な行事予定

- 8日 食に感謝する日 生徒総会
- 9日 第1回設営コンクール
- 11日 スケッチ大会(体操服登校)
- 16日 歯科検診(3年, 2年3クラス)
- 20日 PTAボランティア打合せ 学級弁論大会
- 21日 心臓検診(1年)
- 23日 耳鼻科検診(1年)
- 28日 中体連推戴式
- 31日 第68回研究公開



今月の主な受賞者

【国分縄文旗柔道大会】	女子個人部 優勝 尾川 七花
男子個人部 準優勝 尾堂 康一朗	
【かごしま弓まつり】	女子団体の部 準優勝 伊敷 D A
男子個人部 準優勝 伊敷 D A	

学習適応授業とは・・・

効果的・効率的に授業内容を理解し、将来に必要な資質・能力を着実に身に付けるためには、授業の受け方・心構え、充実した話し合いをする方法を知り、それができるようになる必要があります。



立腰



功徳十の条
1 やすきが起る
2 息吐きながら起る
3 背骨が一直線になる
4 視線が前方になる
5 呼吸が楽になる
6 行動が俊敏になる
7 呼吸が楽になる
8 マウスと腕の動きが楽になる
9 内臓が動く
10 姿勢が良くなる

本校では、「立腰」について取り組んでいます。腰「姿勢」は、身体格好のことで、心構えや態度を表現する言葉でもあります。それを具体的に示したのが上の図です。積極的に意見を言う生徒を目指します。